

(1) 行政施策の立案及び実施に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
1	健康いせはら21(第3期)計画推進会議	継続	保健福祉部健康づくり課	医学部看護学科三橋 祐子 准教授	平成30年度から令和4年度までを計画期間とする健康いせはら21計画(第3期)をより効果的に推進するための会議を実施する。	期 日 1月～3月予定(計2回)
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -

(2) 保健、福祉及び医療等の推進に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
1	災害時医薬品の供給業務	継続	企画部危機管理課	医学部附属病院薬剤部薬剤科	災害時における医薬品の供給に関する協定に基づき、災害時医薬品の備蓄・管理を行う。	期 日 通年
						場 所 市内7箇所医療救護所
						内 容 災害時医薬品管理及び更新
						参加者数 延べ5名参加
						成果及び課題 災害時医薬品の適正管理を実施中 2回目の定期更新を12月3日に実施予定
2	認知症に関する医療と介護の連携	継続	保健福祉部介護高齢課	医学部医学科永田 栄一郎 教授	地域包括支援センター・医師会・認知症疾患医療センター(東海大学病院)、市により、認知症にかかる医療と介護の連携を強化する。	期 日 ①7月28日 ②11月24日
						場 所 オンライン開催
						内 容 認知症疾患医療センター実績報告、研修報告、各自治体や医師会等との情報交換等
						参加者数 ①30名 ②33名
						成果及び課題 各機関との情報共有
3	ライフケアセンターとの包括的な健康づくり事業	継続	保健福祉部健康づくり課	医学部医学科西崎 泰弘 教授	健診未受診の方を健診受診につなげるための健康バス等の事業を実施し、市民の健康増進を推進する。	期 日 7月～11月(計7回)
						場 所 各自治会集会所等
						内 容 来所した市民に対して体組成、骨量、血管年齢、血圧の測定および結果説明、健康指導、栄養指導
						参加者数 232名(累計)
						成果及び課題 来所者の健康意識の向上と健診未受診者に受診勧奨ができた。

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
4	伊勢原市派遣型 救急ワークステーション	継続	消防本部 警防救急課	医学部 医学科 中川 儀英 教授	救急隊を病院に派遣し救急救命士の再教育を行うと共に、医師同乗で出動し救命率の向上を図る。	期 日 通年
						場 所 東海大学医学部付属病院高度救命救急センター
						内 容 救急救命士の再教育と医師・看護師同乗で出動し医師の指導の下、救命処置を実施。
						参加者数 救急隊員(579名)医師・看護師(303名)合計882名
						成果及び課題 ワークステーションで64件(11月29日現在)出動。中等症以上の45名が早い段階で医療介入し、治療が開始されている。
	小児看護学実習Ⅰ	中止	子ども部 子ども育成課	医学部 看護学科	看護師資格の取得に向け、公立保育所での現場実習を実施する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -
	救急車同乗実習	中止	消防本部 警防救急課	医学部 医学科 中川 儀英 教授	現場救急医療から院内医療への救命リレーの重要性を学習する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -

(3) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
1	伊勢原市総合計画審議会	新規	企画部 経営企画課	教養学部 人間環境学科 勝田 悟 教授 スチューデントアチーブメントセンター 桑原 公美子 教授	市長の諮問に応じ、伊勢原市総合計画の策定に関し必要な調査及び審議を行う。	期 日 11月24日、1月25日(予定)
						場 所 市役所 全員協議会室
						内 容 委員の委嘱式、諮問、次期総合計画策定方針の説明等
						参加者数 20名
						成果及び課題 伊勢原市総合計画審議会委員を委嘱し、市長から諮問を行った。
2	伊勢原市図書館協議会	新規	教育部 図書館・子ども科学館	教職資格センター 朝倉 徹 所長	図書館の円滑な運営を図るために協議をする。	期 日 7月13日
						場 所 伊勢原市立子ども科学館会議室
						内 容 図書館事業についての協議
						参加者数 6名
						成果及び課題 図書館事業について協議いただくとともに会長としてとりまとめいただいた。

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
3	伊勢原市第5次総合計画後期基本計画施策評価委員会	継続	企画部 経営企画課	健康学部 健康マネジメント学科 社会福祉学科(兼任) 妻鹿 ふみ子 教授	市の行政評価に外部の視点を取り入れることにより、評価の客観性および透明性を確保し、効果的かつ効率的な行政運営を推進を図る。	期 日 ①4月23日～27日 ②4月30日
						場 所 ①書面開催 ②市長公室
						内 容 ①外部評価報告書(案)の内容確認 ②外部評価報告書の手交
						参加者数 ①10名 ②2名
						成果及び課題 伊勢原市第5次総合計画の施策評価結果を取りまとめ、公表した。
4	伊勢原市行財政改革推進委員会	継続	企画部 経営企画課	政治経済学部 政治学科 中村 隆志 講師	市の行財政運営の点検を行い、伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況について意見を述べる。	期 日 11月11日、3月(予定)
						場 所 伊勢原市民文化会館 練習室2 等
						内 容 ・第5次行財政改革推進計画 令和2年度の取組結果 ・公共施設等総合管理計画の改訂及び個別施設計画の策定の進め方について ・令和4年度以降の公の施設の指定管理者の候補者の選定について など
						参加者数 14名
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただいた。
5	伊勢原市情報公開審査会	継続	総務部 文書法制課	健康学部 健康マネジメント学科 堀越 由紀子 教授(特任)	情報公開請求の諾否決定に対する審査請求や情報公開制度の在り方に関し、市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期 日 開催予定なし(審査請求案件等が上った場合は、随時開催)
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -
6	伊勢原市個人情報保護審査会	継続	総務部 文書法制課	法学部 法律学科 内山 安夫 教授	個人情報の開示請求の諾否決定に対する審査請求に関する市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期 日 12月1日(予定)
						場 所 市役所 議会第3委員会室
						内 容 ・委嘱状委嘱式 ・第1回会議
						参加者数 5人
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただく。
7	伊勢原市人権施策推進委員会	継続	市民生活部 人権・広聴相談課	伊勢原事務部 伊勢原人事課 桑久保 ひとみ 課長 法学部 法律学科 押久保 倫夫 教授	本市が展開・実施する各種人権施策について、評価・点検等を行い、人権施策の総合的推進を図る。	期 日 1月26日(予定)
						場 所 市役所 全員協議会室
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
8	伊勢原市いじめ問題再調査会	継続	市民生活部 人権・広聴相談課	医学部 救命救急医学 本多 ゆみえ 講師 文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	いじめ防止対策推進法の規定による調査の結果について、市長の諮問に応じて調査し、その結果を答申する。	期 日 開催予定なし(教育委員会から要請があった場合は、随時開催)
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -
9	伊勢原市環境対策審議会	継続	経済環境部 環境対策課	医学部 医学科 立道 昌幸 教授	環境基本計画の年度報告書など環境対策に関する重要な事項を調査審議する。	期 日 ①10月12日 ②11月22日 ③2月末(予定)
						場 所 市役所 全員協議会室
						内 容 ①第二次伊勢原市環境基本計画令和2年度報告書 ②第三次伊勢原市環境基本計画策定方針 ③第三次伊勢原市環境基本計画骨子(予定)
						参加者数 ①12名 ②11名 ③12名(予定)
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただいた。
10	伊勢原市清掃美化審議会	継続	経済環境部 環境美化センター	教養学部 人間環境学科 勝田 悟 教授	清掃に関する制度の改善整備及び清掃美化に関する根本的対策を調査審議する。	期 日 10月20日
						場 所 市役所 2C会議室
						内 容 伊勢原市ごみ処理基本計画(案)及び伊勢原市生活排水処理基本計画(案)について
						参加者数 13人
						成果及び課題 伊勢原市ごみ処理基本計画(案)及び伊勢原市生活排水処理基本計画(案)について審議いただいた
11	伊勢原市社会福祉審議会	継続	保健福祉部 福祉総務課	医学部 医学科 (未定) 健康科学部 社会福祉学科 東 奈美 准教授	市長の諮問に応じて社会福祉に関する事項について、調査及び審議を行う。	期 日 2月頃(予定)
						場 所 -
						内 容 第5期伊勢原市地域福祉計画策定について(予定)
						参加者数 -
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただく。
12	伊勢原市成年後見・権利擁護推進委員会	継続	保健福祉部 福祉総務課	法学部 法律学科 塩原 真理子 准教授	成年後見制度の利用促進及び伊勢原市成年後見・権利擁護推進センターの適正な事業運営に関する事項について、検討する。	期 日 ①7月30日 ②1月頃(予定)
						場 所 市役所 第3委員会室
						内 容 成年後見制度利用促進基本計画策定に関する審議及び伊勢原市成年後見権利擁護推進センター事業に関する助言等
						参加者数 ①11人 ②11人(予定)
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただいた。

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
13	伊勢原市地域福祉計画点検推進委員会	継続	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント学科 妻鹿 ふみ子 教授 健康学部 健康マネジメント学科 竹内 友章 助教	伊勢原市地域福祉計画の円滑な推進を図るため、計画の進捗状況の点検、改善及び施策の充実方法等について審議を行う。	期 日 ①9月1日～19日 ②2月頃(予定)
						場 所 ①書面開催 ②未定
						内 容 ①第4期伊勢原市地域福祉計画関連施策の取組の評価等 ②第5期伊勢原市地域福祉計画策定に伴う基礎調査分析結果報告等
						参加者数 ①11人 ②11人(予定)
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただいた。
14	伊勢原市障害支援区分判定審査会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント学科 市川 享子 講師(専任) 健康学部 健康マネジメント学科 中野 いずみ 教授	介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定を行う。	期 日 毎月3回 (第2金曜日、第1火曜日、第3火曜日)
						場 所 市役所 会議室
						内 容 介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定
						参加者数 5名
						成果及び課題 専門的な意見、判断をいただき、障害支援区分の判定をすることができている。
15	伊勢原市障がい者くらしを考える協議会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント学科 菅野 和恵 准教授	障害者及びその家族の個々の事情に即したサービスが提供されているか、また伊勢原市における地域課題や、施策提案等について確認し、協議、検討を行う。	期 日 7月7日、10月8日、2月7日(予定)
						場 所 市役所 会議室
						内 容 ・各専門部会からの報告を受け、地域課題や施策提案等について、全体での協議検討 ・障害者計画、障害福祉計画、障害児福祉計画の点検評価 ・困難事例への対応のあり方について ・その他地域の障害福祉について検討すべき事項
						参加者数 20名程度(協議内容により変更あり)
						成果及び課題 各専門部会からの報告及び提案事項等について意見、助言をいただき検討することができている。
16	伊勢原市自殺対策計画推進委員会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	医学部 医学科 山本 賢司 教授	自殺対策計画策定のため、計画推進委員会を開催する。	期 日 2月(予定)
						場 所 市役所 会議室
						内 容 第1期伊勢原市自殺対策計画の点検評価
						参加者数 13名
						成果及び課題 専門的な意見や指摘をいただき、計画の点検評価及び検討ができている。
17	介護保険運営協議会	継続	保健福祉部 介護高齢課	健康学部 健康マネジメント学科 西村 昌記 教授	介護保険事業の運営に関する事項及び地域包括支援センターの運営等に関する事項の審議や高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進行管理を行う。	期 日 ①8月19日 ②11月25日 ③2月(予定)
						場 所 ①書面開催 ②③市役所 2C会議室
						内 容 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画関連事業 他
						参加者数 各回12名程度
						成果及び課題 専門的見地から介護保険運営についての意見等をいただいた。

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
18	伊勢原市介護認定審査会	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部内科学系リウマチ内科学 佐藤 慎二 教授	介護保険法に規定するもののほか、生活保護法第6条に規定する被保護者であって40歳以上65歳未満の者に係る審査判定業務を行う。 【任期】 令和3年4月1日～令和5年3月31日	期 日 【実施済み】31回 【今後実施予定】25回 ※原則月10回開催とし、10合議体の審査会のうち、各委員は7合議体に所属し、月1回出席する。(審査件数が少ない場合、委員が集まらなかった場合には中止となる)
				医学部付属病院看護師 佐伯 真吾 師長		場 所 市役所 レストラン棟会議室等
				医学部付属病院看護師 西野 隆一 主任		内 容 介護保険法に基づき、要介護(要支援)認定申請のあった者に対し、認定調査及び主治医意見書から、介護度及び認定有効期間を決定する。
				医学部リハビリテーション技術科 池尻 正枝 科長補佐		参加者数 委員4人
				医学部リハビリテーション技術科 油井 里美 健康学部健康マネジメント学科 阿部 正昭 教授 健康科学部社会福祉学科 船水 浩行 教授 医学部看護学科 庄村 雅子 教授 医学部看護学科 小椋 正道 准教授		成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただいた。
19	伊勢原市在宅医療と介護連携推進会議	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部 総合内科 小澤 秀樹 教授	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域における医療と介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護サービスを提供する体制構築を推進するため会議を開催し、課題に対する対策を検討する。	期 日 ①6月30日 ②10月20日 ③1月26日(予定)
				医学部 看護学科 岡部 明子 准教授		場 所 ①書面開催 ②③伊勢原市シティプラザふれあいホール
				医学部付属病院 患者支援センター総合相談室 内田 敦子 室長		内 容 在宅医療介護連携推進に関する内容他
						参加者数 各回16名程度
						成果及び課題 各専門の見地から在宅医療介護連携に関する意見をいただいた。
20	高齢者虐待対応緊急作業会議	継続	保健福祉部 介護高齢課	健康学部 健康マネジメント学科	高齢者虐待対応の中で、虐待と認定された後、緊急性の判断をしたり、具体的支援方法、支援期間を設定するため、会議を開催する。	期 日 通年
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 該当があり次第、随時開催

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
21	伊勢原市地域医療連絡会	継続	保健福祉部 健康づくり課	伊勢原事務部 伊勢原総務課 大島 慎一郎 課長	安心できる医療・保健の実現を目指し、地域医療のあり方等について研究・調整を行う。	期 日 随時開催
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び課題 —
22	伊勢原市国民健康保険運営協議会	継続	保健福祉部 保険年金課	大学院健康科学研究科 スチューデントアチーブメントセンター 御領 奈美 准教授	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。	期 日 12月17日、3月末(予定)
						場 所 書面開催
						内 容 国民健康保険の財政運営状況等について
						参加者数 9人
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただいた。
23	伊勢原市スポーツ推進審議会	継続	保健福祉部 スポーツ課	医学部看護学科 沓澤 智子 教授	市民生涯スポーツ推進基本計画に基づき、市民が主体の生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ活動の推進策などを審議する。	期 日 12月9日(予定)、2月(予定)、3月(予定)
						場 所 市役所 2C会議室
						内 容 スポーツ関係団体補助金額やスポーツ賞被表彰者の審議など
						参加者数 10人
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただく。
24	伊勢原市子ども・子育て会議	継続	子ども部 子ども育成課	健康学部 健康マネジメント学科 菅野 和恵 准教授	子ども・子育て支援事業計画に関する進行管理、教育・保育施設等に関する事項を審議する。	期 日 ①12月(予定) ②1～2月(予定)
						場 所 ①書面開催 ②対面開催(予定)
						内 容 ①第2期伊勢原市子ども・子育て支援事業計画の実績報告 ②令和4年4月1日の利用定員等について
						参加者数 13名(予定)
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただく。

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
25	伊勢原市要保護児童対策地域協議会	継続	子ども部 子ども家庭相談課	医学部付属病院 患者支援センター総合相談室 内田 敦子 室長	子どもを守る地域ネットワーク構成員と連携強化を図り、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応について取組む。	期 日 7月2日、16日、2月18日(予定)
						場 所 シティプラザふれあいホール
						内 容 要保護児童対策地域協議会の令和2年度活動実績報告及び令和3年度取組方針等の協議
						参加者数 21名
						成果及び課題 地域における医療機関の立場から専門的助言を戴いた。
26	伊勢原市都市計画審議会	継続	都市部 都市政策課	工学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	都市計画案件に関する審議等を行う。	期 日 ①11月9日 ②2月(予定)
						場 所 市役所 会議室
						内 容 ① ・伊勢原都市計画生産緑地地区の変更について ・特定生産緑地の指定について ・緑の基本計画改定の考え方について ②(予定) ・都市計画下水道の変更について ・緑の基本計画改定の骨子案について
						参加者数 ①13名 ②16名(予定)
						成果及び課題 委員の委嘱と、都市計画の案等の事項に関して協議し、答申を頂いている。
27	伊勢原市まちづくり審議会	継続	都市部 都市政策課	法学部 法律学科 塩原 真理子 准教授	市民等が主体のまちづくり活動の推進及び支援並びに開発事業の協議調整、また、景観まちづくりに関する審議を行う。	期 日 2月1日(予定)
						場 所 市役所 会議室
						内 容 地域景観資源登録の案について等
						参加者数 7名
						成果及び課題 委員の委嘱と、地域景観資源登録の案等の事項に関して協議し、答申を頂いている。
28	伊勢原市下水道運営審議会	継続	土木部下水道経営課	政治経済学部 経営学科 松原 沙織 教授	受益者負担金、下水道使用料、下水道の運営について審議するほか、下水道事業の運営に関する事項を調査・研究する。	期 日 ①11月12日 ②2月14日(予定) ③2月下旬～3月(予定)
						場 所 ①市役所 全員協議会室 ②③アクアクリーンセンター
						内 容 下水道使用料の概要について 等
						参加者数 ①10名 ②③12名(予定)
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただいた。
29	伊勢原市文化財保護審議会	継続	教育部 教育総務課 歴史文化担当	文学部 歴史学科考古学専攻 北條 芳隆 教授	教育委員会の諮問に応じて、文化財の指定、その指定の解除、保存及び活用に関する専門的、技術的事項を調査審議し、教育委員会に建議する。	期 日 時期未定(年2回開催予定)
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
30	社会教育委員会 議	継続	教育部 社会教育課	教職資格センター (課程資格教育セン ター 教育学研究室) 古里 貴士 准教授	文化や体育の振興、家庭教育 支援、公民館運営等の社会教 育全般について、社会教育委 員会議に出席して意見を述べ る。	期 日 5月21日、11月12日、2月(予定)、3月 (予定)
						場 所 中央公民館会議室A
						内 容 社会教育全般に関する意見陳述。
						参加者数 10名
						成果及び 課題 専門的な見地から意見等をいただいた。
31	伊勢原市立子ど も科学館運営協 議会	継続	教育部 図書館・子ど も科学館	理学部 化学科 藤尾 克彦 教授	子ども科学館の円滑な運営を 図るために協議をする。	期 日 4月21日～4月28日
						場 所 書面開催
						内 容 子ども科学館の運営についての協議
						参加者数 1名
						成果及び 課題 夏休み期間の月曜開館の見直しについ てご意見を書面にて提出して頂いた。

(4) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
1	総合型地域ス ポーツクラブ運営 事業	継続	保健福祉部 スポーツ課	医学部 副医学部長 城生 弘美 教授	市民の体力・健康増進を図るた め、年間を通して、月1～2回の スポーツ教室を5種目と看護・ 社会福祉・スポーツ運動講座を 設け、市民の継続的な運動・ス ポーツ活動の展開を推進する。	期 日 通年
						場 所 武道館・伊勢原市体育館
						内 容 筋力トレーニング・ヨガ
						参加者数 90名
						成果及び 課題 新型コロナ対策をしながらスポーツ教室 は実施できたが、通年の本講座が実施 できなかった。
2	子育てサポー ター、ファミリー・ サポート・セン ター支援会員研 修会	継続	子ども部 子育て支援課	医学部 看護学科 杉村 篤士 講師	地域全体で子育てをサポート する人材の養成・育成を図るた めの講座を開催する。	期 日 10月19日
						場 所 市役所 2C・2D会議室
						内 容 小児看護の基礎知識
						参加者数 11人
						成果及び 課題 新型コロナウイルス感染症対策に伴い、 新規のファミリー・サポート・センター支援 会員研修及び子育てサポーターの養成 講座を実施。既存会員に対するスキル アップ研修は未実施。

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
	いせはら市民大 学講座	中止	保健福祉部 福祉総務課 (社会教育課 と共催)	健康学部 健康マネジメント学科 竹内 友章 助教	福祉政策の推進に必要な人材 育成を着実に進めるため、地域 福祉に関する研修講座を行う。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び - 課題
	東沼目安心見守 り隊	中止	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント学科 竹内 友章 助教	東沼目自治会で行っている見 守り活動に生徒が参加し、地域 の支え合い活動について理解 を深める。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び - 課題
	市民公開講座	中止	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	地域住民を対象とした公開講 座を開催する。(テーマは未定)	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び - 課題
	いきいき健康講 座	中止	保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科 西崎 泰弘 教授	地域住民を対象とした生活習 慣病予防講座を開催。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び - 課題
	伊勢原市クルリ ン健康ポイント事業	中止	保健福祉部 健康づくり課	健康科学部長 沓澤 智子 教授	普段運動をあまり行わない方 や、健康づくりには興味があっ ても、行動に移せない市民等を 対象に、健康ポイント制導入に よる運動・スポーツプログラムを 行い、楽しみながら気軽に参加 できる健康増進の環境を提供 する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び - 課題

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
	大学開放講座	中止	教育部 社会教育課	健康科学部 体育学部	健康、生活、福祉等の基本的な知識と技術を習得するための機会と場を提供する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び課題 -
	市民のための図書館教養講座	中止	教育部 図書館・子ども科学館	キャンパスサポートオフィス (図書担当)	市民の読書欲、探究心の向上を図るため、教養講座を開催する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び課題 -

(5) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
1	鳥獣被害対策に関する学術研究への支援	新規	経済環境部 農業振興課	情報理工部 コンピュータ応用工学科 稲垣 克彦 教授	鳥獣から農作物等の被害軽減に向けたICTやロボット技術を活用した追い払い実験検証	期 日 1～3月(予定) 場 所 子易地区 内 容 ICTやロボットを活用した鳥獣対策の試験研究 参加者数 - 成果及び課題 -
2	平成大山講プロジェクト推進協議会	継続	経済環境部 商工観光課	観光学部 観光学科 橋本 佳典 教授	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの人が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期 日 ①10月 ②1月(予定) 場 所 ①書面開催 ②市役所 会議室(予定) 内 容 会長職 参加者数 21名 成果及び課題 新たな核づくり事業に係る事業計画の県への提出
	TOKAIグローバルフェスタ湘南マルシェ出店	中止	経済環境部 商工観光課(観光協会) 教育部 教育総務課 歴史文化担当	キャンパスサポートオフィス(地域連携担当)	東海大学湘南キャンパスに特産品を販売・PRするスペースを開設し、伊勢原市の魅力や情報を発信する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び課題 -

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
	東海大学伊勢原校舎物産展	中止	経済環境部 商工観光課 (観光協会)	観光学部 観光学科 伊勢原総務課	東海大学医学部附属病院に推 奨みやげ品等の販売スペース を開設し、物産品を販売する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び - 課題
	道灌まつりポ スターデザイン	中止	経済環境部 商工観光課	地域連携担当ゼネラ ルマネージャー 教養学部 芸術学科 池村 明生 教授	東海大学の学生による道灌ま つりのポスターデザインを行う。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び - 課題
	第54回伊勢原観 光道灌まつりに係 る「市民安全・安 心パレード」	中止	経済環境部 商工観光課	東海大学吹奏楽研 究会	交通安全関係者及びボイス カウト等とパレードを行い、交通 安全等と呼びかける。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び - 課題
	丹沢湘南観光連 携会議	中止	経済環境部 商工観光課 (観光協会)	未定	伊勢原市、秦野市、平塚市、大 磯町、二宮町、中井町、湘南地 域県政総合センター、東海大 学観光学部によりツアー企画な どの会議を開催する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び - 課題

(6) 大学の学術研究における行政情報の提供に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
1	心理実習受け入 れ	新規	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 中島 由宇 講師(専 任)	公認心理師養成に係る学部実 習科目である「心理実習」の一 環	期 日 6月17日 場 所 伊勢原市役所(子ども科学館会議室) 内 容 公認心理師である教育センター職員の 講義等により、教育センターの機能を理 解し、そこにおける心理職によるチーム アプローチや連携の実践について学ぶ 参加者数 文化社会学部心理・社会学科4年生 1 1名 成果及び 「心理実習」の講義を通して、学生に教 育分野における心理職の実践を学ぶ機 会を持ってもらった。 課題

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
2	風水害に関する 学術研究への支援	継続	企画部 危機管理課	工学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授 工学部 土木工学科 杉山 太宏 教授	風水害HM更新に伴い、技術的な助言等を得ながら、更新を図る。 市内の二級河川に対して水位計の増設を依頼し、地域の災害特性に応じたきめ細やかな早期避難体制の構築を図る。	期 日 梶田教授:予定なし 杉山教授:通年
						場 所 市内河川
						内 容 簡易水位計の増設を依頼し、地域の災害特性に応じたきめ細やかな早期避難体制を構築する
						参加者数 数名
						成果及び 課題 引き続き体制の構築に向け調整を行う

(7) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
1	東海大学孺恋高原研修センター施設利用に係る覚書	継続	企画部 経営企画課	学園事務センター 人事・法務ユニット	群馬県吾妻郡孺恋村にある「東海大孺恋高原研修センター」について、伊勢原市民が東海大学関係者と同じ割引価格で利用できる覚書を締結し、利用促進の広報等を実施する。	期 日 通年
						場 所 -
						内 容 市民等の申込みにより、センターの宿泊場所及び付随施設を提供することを目的として、令和2年4月1日に覚書を締結した。
						参加者数 -
						成果及び 課題 新型コロナウイルスの影響により、当初令和2年4月に予定していた市HPでの公開を見合わせている状況。当該公表時期については、要検討。
2	伊勢原市教育センター研究発表会	継続	教育部 教育センター	伊勢原総務課	教育センターの研究発表のため、ICT機器の環境が整った東海大学伊勢原キャンパス講堂Aを利用してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインの開催とする。	期 日 8月24日
						場 所 オンライン開催
						内 容 ・指定課題別調査研究発表 ・自主課題別調査研究発表 ・インターネットやゲームが子どもたちの心と身体にもたらす影響に関する基調講演
						参加者数 80名
						成果及び 課題 各種課題の調査研究成果

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
	伊勢原市立図書館と東海大学図書館の相互利用協定	中止	教育部 図書館・子ども科学館	キャンパスサポートオフィス (図書担当)	市民と東海大学職員・学生の図書館の相互利用を行う。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び課題 -

(8) その他

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
1	適応指導教室 スーパーヴィジョン	新規	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	様々な課題を抱えた子どもたち、その家族に対して専門的に接するには、知識・経験・人格・コミュニケーションの技術が必要であるため、適応指導教室に携わる職員の技術・人間性の向上のために、スーパーヴァイザーによる指導を仰ぐ場とする。	期 日 11月24日 場 所 適応指導教室 内 容 事例検討 参加者数 4名 成果及び課題 適応指導教室に通室する児童生徒の理解と対応を深める機会となっている。
2	教育相談 スーパーヴィジョン	新規	教育部 教育センター	医学部 医学科 高橋 有記 講師	様々な課題を抱えた子どもたち、その家族に対して専門的に接するには、知識・経験・人格・コミュニケーションの技術が必要であるため、適応指導教室に携わる職員の技術・人間性の向上のために、スーパーヴァイザーによる指導を仰ぐ場とする。	期 日 2月3日 場 所 市役所 会議室 内 容 事例検討 参加者数 10名 成果及び課題 教育相談員の専門性の向上を高める機会となっている。
3	就業体験学生(インターンシップ)実習事業	継続	総務部 職員課	インターンシップ事務局(湘南教務課)	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。	期 日 8月2日～5日 場 所 市役所 内 容 各所属における行政体験実習 参加者数 3人 成果及び課題 地域の大学と連携した人的資源の活用が図られる。
4	伊勢原市平和史料収集事業	継続	市民生活部 市民協働課	ユニバーシティビューロー ゼネラルマネージャー 文化社会学部 広報メディア学科 水島 久光 教授	平和史料収集事業(平和史料展示、史料のデータベース化、平和ドキュメンタリー映像制作等)の実施に向けて、事業の進め方への協議をするとともに撮影等については学生に協力をしてもらう。	期 日 通年 場 所 大田地区 ほか 内 容 ・平和ドキュメンタリー映像制作事業 ・平和史料のデータベース化 参加者数 東海大学生10名 指導教授1名 成果及び課題 ひとつの地区の石造物や寺社、学校等への取材を通じて、資料やエピソードを収集し、平和ドキュメンタリー映像を制作する。 第2弾は大田地区。動画制作を令和3年12月中に行い、年度内の完成をめざす。また、動画制作にあたり収集した資料のデータベース化に着手する。

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
5	治験審査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 治験審査委員会	治験に先立って治験の安全性と理論性の審査を行う。	期 日 通年
						場 所 令和3年4月～9月メール持ち回り審査 令和3年10月～東海大学医学部付属病院
						内 容 治験審査
						参加者数 (未把握)
						成果及び課題 治験委員会外部委員として審査
6	臨床研究審査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部医学科 竹下 啓 教授	人を対象とした医学系研究における倫理的配慮に関して審査を行う。	期 日 月1回実施
						場 所 書面開催
						内 容 人を対象とした医学系研究における倫理的配慮に関しての審査
						参加者数 審査委員12名(市は2名)
						成果及び課題 臨床研究の審査が適正に行われた。
7	神奈川県ドクターヘリ運行調整委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	ドクターヘリの効果的かつ安定的な運行に必要な諸機関の調整・広報・調査及び検証を行う。	期 日 毎月(メールによる実績報告のみ)
						場 所 メールによる実績報告書の送付
						内 容 効率的かつ安定的な運航を行うための調整及び検証
						参加者数 審査委員73名
						成果及び課題 ドクターヘリの運航状況が正しいか外部委員として審査することにより、効果的な運航に繋がる。
8	東海大学医学部付属病院ドクターカー運営委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	東海大学医学部付属病院での救急体制に関する検討を行う。	期 日 通年
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 連絡があり次第、随時開催
9	東海大学医学部付属病院医療安全管理業務監査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	病院の医療安全管理業務が適切に遂行されていることを確認するため、監査委員の立場から、必要な意見・助言を行う。	期 日 通年
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 連絡があり次第、随時開催
10	東海大学地域の課題解決推進会議	継続	保健福祉部 健康づくり課	健康学部長 堀 真奈美 教授	地域における民産官学が連携し、地域の健康課題の具体化及び潜在的な市民ニーズを明らかにし地域の健康課題の解決を推進する。	期 日 通年
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 連絡があり次第、随時開催

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
11	放課後子ども教室	継続	子ども部 青少年課	学生	放課後の時間に児童が学習や 工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大人や学生など 様々な年齢の人々とふれあう。	期 日 5～7月、10～12月、1～3月
						場 所 伊勢原小学校、石田小学校、竹園小学校、成瀬小学校、比々多小学校、大山小学校、桜台小学校
						内 容 工作教室、科学実験、スポーツ体験、マジックショー、自主学習など
						参加者数 伊勢原小学校:71人、石田小学校:122人、竹園小学校:63人、成瀬小学校:148人、比々多小学校:50人、大山小学校:24人、桜台小学校:99人
						成果及び課題 放課後子ども教室の運営を支援するボランティア募集を計画していたが、コロナ禍の影響により、従事する学生に対して募集を依頼するまでには至っていない。
12	伊勢原市教育委員会点検評価 (外部有識者による意見)	継続	教育部 教育総務課	文化社会学部 アジア学科 小林 元裕 教授	教育委員会所管事業の点検評価について、外部有識者の視点から意見を述べる(意見書の作成)。	期 日 7月～9月
						場 所 市役所 全員協議会等
						内 容 令和2年度教育委員会所管事業の点検評価に対する意見
						参加者数 29人
						成果及び課題 専門的見地から意見(書面)をいただいた。
13	教職課程教育実習	継続	教育部 学校教育課	教育学部 資格教育課 伊勢原教学課	教育実習生受入依頼を受けた場合、市内中学校が直接受入れを行う。	期 日 12月(予定)
						場 所 山王中学校、伊勢原中学校
						内 容 中学校教員免許取得のための教育実習
						参加者数 2名
						成果及び課題 地方出身学生がコロナ禍で出身校での実習ができない中、場を提供できた。
14	養護実習	継続	教育部 学校教育課	医学部 看護学科 (教職担当教員)	教育実習生受入依頼を受けた場合、市内中学校が直接受入れを行う。	期 日 5月～6月
						場 所 成瀬小学校、緑台小学校、石田小学校、伊勢原中学校、中沢中学校
						内 容 養護教諭教育実習
						参加者数 5名
						成果及び課題 養護教諭の職務を実践的に学ぶ場を提供できた。
15	学校訪問教育相談研修会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 高橋 有記 講師 文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	市内小中学校において、精神科医、臨床心理士などの専門家を講師に招き、事例検討会を行う。	期 日 6月14日、10月7日、10月11日、10月25日、11月15日
						場 所 各小中学校
						内 容 不登校や多動等、集団生活にうまく適応できない児童生徒について、心理学及び医学的な側面から専門的なアドバイスを受けながら、事例研究・情報交換等を実施
						参加者数 各回15名～30名程度
						成果及び課題 専門的な見地から児童生徒の理解を深める機会となっている

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
16	ハートフルフレンド活用事業	継続	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 (未定) 健康学部 健康マネジメント学科 小林 理 准教授 教職資格センター所長 (課程資格教育センター教育学研究室) 朝倉 徹 教授	話し相手がいらない、仲間に入りづらい、集団活動に適応しにくい等の児童生徒を対象に、友人、家庭関係及び学習についてなどの心配事を気軽に相談したり、話を受け止めたりすることができるハートフルフレンドとして学生ボランティアを配置し、教育相談の充実を図る。	期 日 通年
						場 所 伊勢原市内小中学校
						内 容 話し相手がいらない、仲間に入りづらい等の児童生徒を対象に、話し相手、遊び仲間又は学習支援者として活動する。
						参加者数 2名
						成果及び課題 学生にボランティア活動を行う機会を提供できている。
17	東海学級連絡協議会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 小池 隆志 講師 伊勢原事務部 伊勢原総務課 大島 慎一郎 課長	東海学級(院内学級)の管理・運営及び伊勢原市教育委員会と東海大学医学部付属病院との連絡・調整を行う。	期 日 5月、11月、3月(予定)
						場 所 書面開催
						内 容 東海学級での活動報告を通して、様子を確認し、情報交換を行う。
						参加者数 15名程度
						成果及び課題 東海学級の管理・運営について共通理解が促進され、東海学級の円滑な運営を図ることができている。
18	適応指導教室実習	継続	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	教育センターと大学院側双方のそれぞれのねらいを達成することを目的に教育センター・適応指導教室において実習を行う。	期 日 5月～9月【春学期】 10月～令和4年3月【秋学期】
						場 所 適応指導教室
						内 容 児童・生徒の抱える問題やニーズを把握した適切な支援
						参加者数 3名
						成果及び課題 適応指導教室通室児童生徒への適切な関わりを通じ適応指導教室のより良い運営を図ることができている。
19	大山参道旅館街創生プロジェクト	継続	企画部 経営企画課	KWC (Kanagawa Wellness Corridor)	芸術文化を組み入れた観光事業を継承する。	期 日 通年
						場 所 -
						内 容 令和4年6月からのトライアル開始に向けた基本コンセプトの検討
						参加者数 -
						成果及び課題 -
	伊勢原市デジタル移動通信システム連絡協議会	中止	企画部 危機管理課	伊勢原事務部 伊勢原総務課 大島 慎一郎 課長	デジタル移動通信システムの管理及び運用基準について確認を行う。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -
	伊勢原市総合防災訓練	中止	企画部 危機管理課	伊勢原事務部 伊勢原総務課 大島 慎一郎 課長	災害時応援協定に基づく災害時医薬品の調達、災害時医薬品の搬送について、総合防災訓練を通じて、役割分担等の確認を行う。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和3年11月末時点)
	健康いせはらサ ポーター養成講 座	中止	保健福祉部 健康づくり課	健康学部 健康マネジメント学科 妻鹿 ふみ子 教授	健康いせはらサポーター養成 のための講習会を行う。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未 実施 場 所 — 内 容 — 参加者数 — 成果及び 課題 —